

工事概要

工 事 名	R3荒川第二調節池基盤整備その1工事
工 事 場 所	埼玉県さいたま市桜区下大久保地先
工 期	令和3年9月22日～令和4年5月31日
請 負 金 額	¥ 604,450,000
発 注 者	国土交通省 関東地方整備局 荒川調節池工事事務所
請 負 者	奥村組土木興業株式会社 東京支店

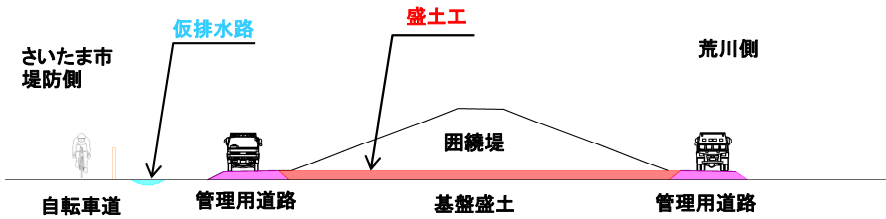
・工事の目的
本工事は、豪雨時、氾濫した荒川の川水を貯める事が出来る調節池を造ることで河川や河口付近の住宅街への浸水を防ぐ囲繞堤を築造することです。

・現場施工範囲



出典: 国土地理院

・標準断面図



・工事進捗状況(11月現在)

施工前(9/15)撮影



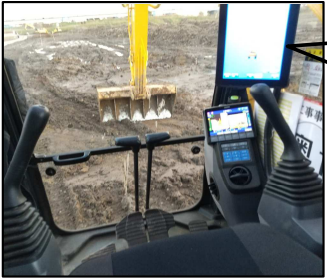
11月(11/1撮影)



現場における新技術の活用

ICT土工(MC・MG搭載重機使用) バックホウ

操縦席



事前に入力されたデータを元にバックホウの刃先が赤色の範囲より下らない様に機械が自動で制御！
これにより、仕上がりの結果が操縦者の経験に左右されなくなります。

ICT土工(MC・MG搭載重機使用) ブルドーザー

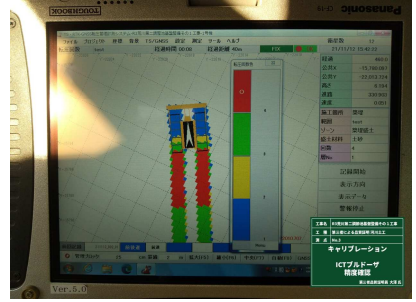


位置情報を受信

受信した位置情報から転圧ブルドーザーの走行した箇所が色で表される。また、同じ箇所を重ねて走ると色が変わる。この特性から指定された回数を走った事の証明が、色を見るだけで済み、効率化が見込める。



操作パネル



ICTツールの活用



クラウド
インターネット上のデータベース



積算情報を取り込み、作業の付加情報として山積み(労務・機械・資材等)や測点、施工管理基準(出来形・品質・写真)などを「ICTツール」内で管理。登録情報を各オプションソフトで利用することで、作業の効率化に繋がります。

UAV(ドローン)の活用



上空から撮影

ドローンで撮影した点群データはバックホウ・ブルドーザー等、ICT土工に必要なデータであり、ICTを活用するなら必須である。



点群データ

点群データを送信

